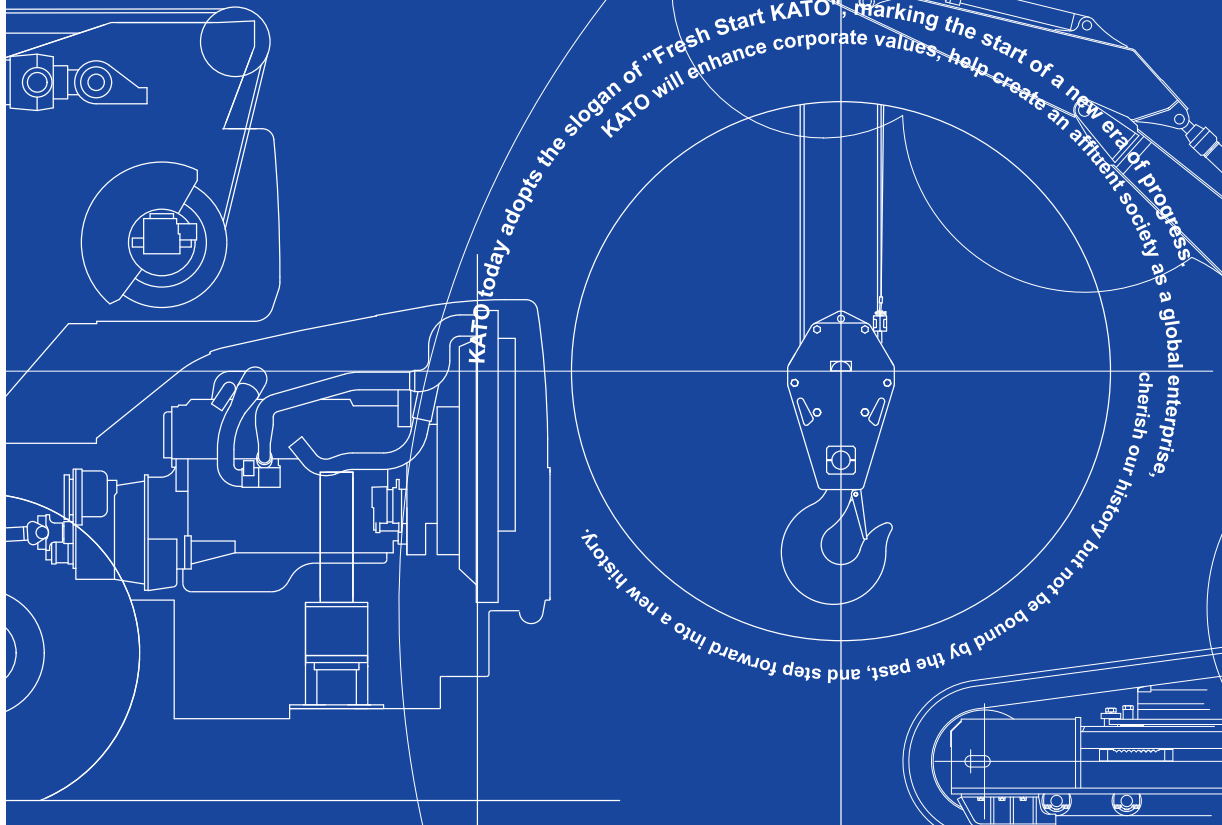


KATO

"Today's dialogue leads to tomorrow's technology"



www.kato-works.co.jp

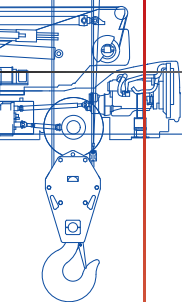
KATO Report

第112期中間報告書

2010/4/1~2010/9/30

株式会社 加藤製作所

証券コード 6390



Innovations For The Future

未来に向けたあらゆる革新的な取り組み
企業価値の向上を目指し
世界的企業として豊かな社会作りに貢献します

Contents

株主の皆様へ……………	2
連結決算の概要……………	3
トピックス……………	5
会社概要……………	6



平成22年12月

代表取締役社長

加藤 公康

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第112期第2四半期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）におけるわが国経済は、中国等の新興国を中心とした輸出の増加や政府の経済対策の効果などにより、一部景気の悪化に底打ち感がみられましたものの、一方で、急激な円高とともに株価が低迷するなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、中国における油圧ショベルの需要が極めて好調に推移しておりますものの、その他の地域や国内の需要は、建設用クレーンを中心に依然として低迷した状況が続いております。このような状況下、当社グループは、積極的な営業活動を行うとともに、コスト削減の徹底を継続してまいりました。

事業別に見ますと、建設用クレーンの荷役機械事業につきましては、前年の極端な買い控え状況から落ち着きを取り戻してまいりましたものの、国内・海外ともに未だ力強さに欠ける厳しい状況が続いており、売上高は、93億7千3百万円（前年同期比107.1%）となりました。油圧ショベルを中心とする建設機械事業につきましては、中国での20トンクラスおよび、新たに投入いたしました30トンクラスの油圧ショベルが、ともに順調に推移し、その他の海外地域および国内においても、徐々に落ち着きを取り戻してまいりましたことにより、売上高は、126億6千6百万円（前年同期比143.9%）となりました。路面清掃車等その他環境機械事業につきましては、売上高は、2億4千2百万円（前年同期比94.0%）となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、222億8千2百万円（前年同期比125.1%）となりました。収益につきましては、営業利益2千9百万円（前年同期は7億7百万円の損失）、経常損失1億5百万円（前年同期は7億3千9百万円の損失）、四半期純利益は2億3千3百万円（前年同期は6億4千2百万円の損失）となりました。

当社グループは、今後もコストダウン施策をさらに追求し、競争力を高め、収益向上に全力を注いでまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算の概要

連結貸借対照表

[単位:百万円]

科 目	2009年度 (前 期 末) 2010年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2010年9月30日現在
資産の部		
流動資産	45,276	56,863
現金及び預金	11,075	10,338
受取手形	7,629	16,626
売掛金	8,834	10,127
商品及び製品	8,178	8,087
仕掛品	2,007	3,172
原材料及び貯蔵品	5,792	6,730
繰延税金資産	1,017	1,014
その他	815	884
貸倒引当金	△74	△118
固定資産	19,474	12,154
有形固定資産	7,845	7,947
建物及び構築物(純額)	3,908	3,875
機械装置及び運搬具(純額)	1,039	1,069
土地	2,548	2,744
建設仮勘定	159	46
その他(純額)	190	211
無形固定資産	167	147
投資その他の資産	11,460	4,058
投資有価証券	648	1,453
長期受取手形	8,437	—
破産更生債権等	2,601	2,590
繰延税金資産	825	1,192
その他	1,568	1,390
貸倒引当金	△2,621	△2,567
資産合計	64,750	69,017

科 目	2009年度 (前 期 末) 2010年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2010年9月30日現在
負債の部		
流動負債	26,465	31,559
支払手形	8,126	12,647
買掛金	3,649	5,039
短期借入金	8,240	7,890
一年内返済予定の長期借入金	3,964	3,573
未払法人税等	187	92
割賦販売前受利息	1,245	1,219
賞与引当金	299	306
製品保証引当金	212	179
その他	540	612
固定負債	9,494	7,927
長期借入金	8,125	6,589
退職給付引当金	776	748
役員退職慰労引当金	579	578
その他	12	11
負債合計	35,960	39,486
純資産の部		
株主資本	28,689	29,648
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	18,669	19,628
自己株式	△24	△24
評価・換算差額等	100	△117
その他有価証券評価差額金	124	55
為替換算調整勘定	△23	△173
純資産合計	28,790	29,530
負債純資産合計	64,750	69,017

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

[単位:百万円]

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2009年4月1日～ 2009年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日
売 上 高	17,814	22,282
売 上 原 価	16,200	19,808
売 上 総 利 益	1,614	2,474
販売費及び一般管理費	2,322	2,444
営業利益又は営業損失(△)	△707	29
営業外収益	444	390
営業外費用	477	525
経 常 損 失 (△)	△739	△105
特 別 利 益	140	116
特 別 損 失	8	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△607	10
法人税、住民税及び事業税	20	94
法 人 税 等 調 整 額	13	△317
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△642	233

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位:百万円]

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2009年4月1日～ 2009年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△2,439	2,212
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△1,427	△342
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	2,944	△2,395
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△43	△210
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△965	△736
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	10,248	11,075
現金及び現金同等物の 四 半 期 末 残 高	9,282	10,338

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

《新型ジブ採用 ラフテレーンクレーンSR250Rプレミアム E JIB新発売》

2010年8月に全国発売を開始しました。

ジブ装着、格納の簡略化、利便性、さらに安全性を重視し、いままでと全く違う空中ジブ振り出し方式を採用し、画期的とも言える高品質のラフテレーンクレーンを新発売しました。

これにより作業時間を大幅に短縮。狭小なスペースでの装着を可能にし、操作の簡略化を実現しました。

また、高所での作業を極力なくし、オペレーターの負担を軽減し、安全を確保しました。

環境にもやさしい新型25トン吊りラフテレーンクレーンはE JIBの愛称とともに、あらゆる現場で好評を得ています。

これからもKATOはクレーン車のトップメーカーとして絶え間ない進化を続けていきます。



《基本性能進化型ショベル HD308USVを新発売》

排出ガス対策エンジンを搭載したREGZAMシリーズHD308USVを2010年8月に全国発売しました。

環境にやさしいショベルをコンセプトに、静かでクリーンな作業環境を実現したうえ、低重心設計の新デザインで、抜群の安定性と操作性を確保しました。

また、新型コンピューターシステム導入により、作業効率も大幅にアップし、外装フルオープンと集中レイアウトにより、さらに効率のよいメンテナンスを可能にしました。

お客様のニーズに応え、進化を続けるKATOのパワーショベルは、全国の様々な現場で活躍しています。



■会社の概要 (2010年9月30日現在)

創 業	明治28年
会 社 設 立	昭和10年 1月
株 式	発行可能株式総数 234,000,000株 発行済株式総数 58,717,936株
資 本 金	2,935,896,800円
従 業 員 数	625名 (連結 754名)
主 要 製 品	●荷役機械

ラフテレーンクレーン (ラフター®)
 オールテレーンクレーン (オルター®)
 〈全油圧式〉トラッククレーン
 積載型クレーン (キャブバック®)
 〈全油圧式〉クローラクレーン

●建設機械

〈全油圧式〉ショベル
 アースドリル (シティドリル®)
 全回転式ボーリングマシン

●その他

〈真空吸込式〉高速路面清掃車
 〈超真空式〉万能吸引車 (マルチバック®)
 空港用除雪車 (スノースーパー)

■役員 (2010年9月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	加 藤 正 雄
代 表 取 締 役 社 長	加 藤 正 公
取 締 役 常 務 執 行 役 員	加 藤 籠 治
取 締 役 執 行 役 員	田 邊 隆 二
取 締 役 執 行 役 員	工 藤 和 博
取 締 役 執 行 役 員	米 村 史 博
執 行 役 員	高 橋 史 啓
執 行 役 員	北 川 一 秋
執 行 役 員	石 丸 靖
執 行 役 員	多 々 良 道 雄
執 行 役 員	柳 城 正 義 孝
執 行 役 員	岡 田 正 博
執 行 役 員	村 上 美 津 男
常 勤 監 査 役	向 井 賢 一
常 勤 監 査 役	為 谷 進
監 査 役	林 功
監 査 役	浦 田 隆

(注) 監査役林 功および監査役浦田 隆の両氏は、社外監査役であります。

■主要工場


茨城工場 (茨城県猿島郡五霞町)



群馬工場 (群馬県太田市)

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日 毎年3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。

公告方法 電子公告
当社のホームページ（<http://www.kato-works.co.jp/>）に掲載いたします。
ただし、事故その他やむをえない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ホームページのご案内

当社HPでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報発信を行っております。

<http://www.kato-works.co.jp/>

